

講義名	経済学入門【経済学部】			
担当教員	中島 孝子			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要

資金や物価（インフレやデフレ）の問題、あるいは為替レートの話題など、日々の新聞やニュースで経済問題が報じられない日はありません。このような経済問題を理解する道具としての経済学の基礎を学びます。

具体的には、現在の経済理論における大きな柱であるミクロ経済学とマクロ経済学の基本部分を講義します。ミクロ経済学では、われわれの経済活動を支えている市場の役割と限界を勉強します。また、マクロ経済学では、経済活動の規模を測る指標であるGDPなどにふれます。

経済理論は一見すると難しいと感じるでしょう。できるかぎり具体例にふれながら説明します。

到達目標

経済学入門では、経済学部で必須となる経済学の学びにおける基本的な考え方を学ぶ。
 経済学入門での学びを通して、
 ・経済学の方法論や考え方を身につけることができるようになる。
 ・現実の経済問題を理論的に捉えることができるようになる。

提出課題

提出課題として、小テスト（ほぼ毎回）と宿題（1回）を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

小テストや宿題の提出後、解説や講評を行います。

評価の基準

成績は100点満点で評価し、60点以上が合格です。
 配分は平常点20%、宿題30%、定期試験（または課題）50%です。
 昨年は履修登録者の89%が宿題と課題を提出し、その87%が合格しました。
 定期試験にかえて課題を課すことがあります。
 詳細は授業時に指示または講義連絡等で通知しますので、ご注意ください。

履修にあたっての注意・助言他

どのような場合でも内容に集中して受講してください。
 対面授業の場合、授業中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁です。
 新聞やテレビで報道される経済に関するニュースに関心を持ち、つとめて新聞を読みニュースを見るようにしてください。

教科書	.マンキュー入門経済学（第3版）.	N.グレゴリー マンキュー	東洋経済新報社	3,520	4492315217

プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を配付します。

授業計画

- 1 経済学の十大原理（第1章）（1）経済学とは、トレードオフ、機会費用、合理的意思決定
- 2 経済学の十大原理（第1章）（2）インセンティブ、取引、市場、政府
- 3 経済学の十大原理（第1章）（3）生産性、物価、インフレと失業
- 4 市場における需要と供給の作用（第4章）（1）市場と競争
- 5 市場における需要と供給の作用（第4章）（2）需要
- 6 市場における需要と供給の作用（第4章）（3）供給
- 7 市場における需要と供給の作用（第4章）（4）市場均衡
- 8 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（1）消費者余剰
- 9 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（2）生産者余剰
- 10 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（3）市場の効率性
- 11 市場の失敗、外部性（第7章）（1）外部性
- 12 市場の失敗、外部性（第7章）（2）市場の非効率性
- 13 国民所得の測定（第8章）（1）国内総生産の意味、測定、構成要素
- 14 国民所得の測定（第8章）（2）実質と名目、経済厚生
- 15 生計費の測定（第9章）消費者物価指数、物価変動

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：毎回教科書の該当範囲を読んで理解してください。わからない部分について調べたり考えたりしてください（2時間/回）。
 復習：配布資料と教科書に基づいて、復習をしてください（2時間/回）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済学部において、経済学に関する学びは必須である。
 経済学入門は経済学の学びにおける最初の科目であり、経済学の基本的な考え方を学ぶ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

アンケートや小テストなどの提出において、レスポンスを利用します。

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスが修正される可能性があります。
 Ryuka portal上でのお知らせ等に注意してください。